

事務事業名	国道54号三刀屋拡幅事業第3期促進事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	国県事業グループ	課長名	森田 一
施策名	(08) 高速・広域交通網の整備	担当者名	三島祐一	電話番号 (内線)	0854-40-1062 3737
基本事業名	(021) 国道・県道の整備促進	予算科目	会計 款 項 目 中事業	011 410 110 115 019	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21年度 ~ 27年度)	国道54号三刀屋拡幅事業第3期の促進活動 斐伊川兩岸の均衡ある発展のため、里熊大橋拡幅および里熊交差点付近の4車線化の事業並びに取付け市道の整備を行なう。	平成18年度に国土交通省において「国道54号三刀屋拡幅事業第2期」が事業化されたことに伴い、継続した事業実施にむけ関係機関協議・要望が必要となった。

(2) トータルコスト

	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳 (概要)							
・測量試験費:6,195千円							
事業費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円		1,470			1,470
	地方債	千円			277,700	161,500	492,000
	その他	千円					
	一般財源	千円		1,995	6,195	16,700	8,500
事業費計 (A)	千円	0	3,465	6,195	294,400	170,000	520,000
人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	80	160	160	80	
	人件費計 (B)	千円	311	631	631	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	311	4,096	6,826	294,400	170,000	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績 (23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	道路網計画の作成 地元調整 関係機関協議	ア 工事進捗率	%	0	0	0	10		
	24年度計画 (24年度に計画している主な活動)	イ							
	地元調整 関係機関協議 道路詳細設計	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	・道路利用者 ・雲南市民	⑥ 対象指標							
	③ 意図 (対象がどのような状態になるのか)	ア 人口	台	42478	41927	41159	41032		
	・安全・迅速に道路を利用してもらう。 ・渋滞の緩和、歩行者の安全性の向上	イ							
上位目的	④ 結果 (どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	・市外主要都市と雲南市を安全で迅速に移動できるようにする。	ア 改良延長	m	0	0	0	0		500
		イ							
		ウ							
		⑧ 上位成果指標							
		ア 三刀屋拡幅事業整備率	%	29.2	29.2	29.2	29.2		41.5
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか?
三刀屋拡幅事業第3期をスタートさせるには、第2期の早期完成が条件といわれており、地元調整・関係機関協議が重要課題となっている。	合併特例債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	交通渋滞緩和、幹線道路網の整備は、雲南市民の要望である。また、下熊谷地区と里方地区の一体となった新市街地形成が望まれている。

事務事業名	国道54号三刀屋拡幅事業第3期促進事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 都市計画の骨格をなす国道54号拡幅事業の大成は、雲南市の産業・経済活動に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 4車線化に伴い市内の渋滞緩和、安全な通行、均衡ある地域発展を促すことになり、市の関与は妥当であると考え。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 本事業により恩恵を受けるのは雲南市民であり、メリットは大きいと考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 執行部、議会が一体となった要望活動の推進により、成果は十分獲得される。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 雲南市民庁舎建設事業と密接な関係があるため、事務事業の廃止・休止は出来ない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 国土交通省の事業であり、類似事業はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 起債事業等の導入により、事業費の削減を図る。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在の時点では、削減対象となっていない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の推進における恩恵は、雲南市民全域の市民にある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国土交通省と事業分担を図り、事業費の縮小が図られるような事業展開を図った。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
高速道路事業の推進・地元調整活動と国道54号拡幅事業の推進活動は重点課題であることを踏まえ、綿密な方向性を協議できる体制作りは重要と考える。																							